

本づくり応援マガジン

昭和堂
ゆるりで出版された
本のご紹介

ゆるり

vol.40

ひたむきな想いを形に。

- 02 織物作品集
「四季織り織り」
堀 直子
- 04 画集「塩田幸助画集」
塩田 幸助
- 06 パッチワーク&エッセイ集
「思い出の布たち」
森 洋子
- 07 エッセイ集
「かけがえのない日々 第6章」
田添 京子
- 08 俳句・短歌集「父 久田 力男」
久田 浩一郎
- 09 画集「木原正高水彩画集Ⅲ」
木原 正高
- 10 歌集「汐々」
森脇 喜代子
- 11 郷土誌&家族史
「壱岐の島の漁村に生きて」
松尾 満里子・松尾 營子
- 14 新刊紹介

特集

- 12 短歌雑誌「あすなろ」
創刊50周年
- 13 「ゆるり」が結んだ縁

表紙「日本二十六聖人記念館前で」
JRP 日本リアリズム写真集団長崎支部長 村里 榮さん
2020年には「写真集 長崎の証言」の増補改訂版を出版
ご自身の写真集も準備中です。



株式会社 昭和堂 | 「ゆるり」は長崎県内の主なコミュニティ施設に無料で配布しています。

自費出版サロンゆるり TEL.095-828-1790

〈織物作品集〉

四季織り織り

堀 直子

Naoko Hori

何もない無から一つの作品が生まれる機織り
それは、至福の喜び

日本民話、鶴の恩返し「夕鶴」や、天の川を挟んで一年に一度だけ逢える彦星様と織姫様の物語…。

哀愁のあるお話に登場する機織りに幼少の頃より興味があったという堀さん。

縁あって日本工芸会で活躍を続けていた素晴らしい師との出会いがあり、真摯に機織りを学び、丹精込めた作品は多くの賞も受賞してきました。

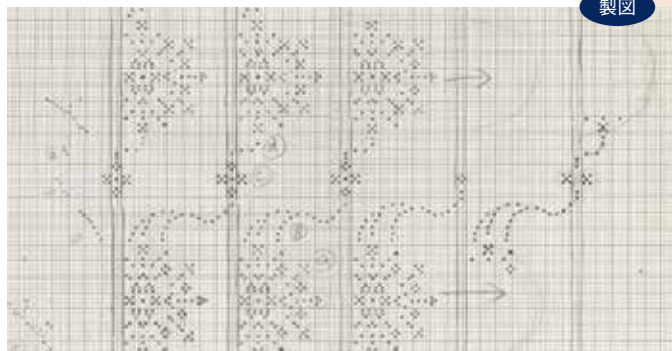
そんな堀さんが、半世紀以上にわたって機織りに携わってきた集大成として、生み出してこられた貴重な作品の数々を一冊にまとめられました。



■ 版型: 210×250
■ 頁数: 120頁
■ 製本: ガンダレ製本
■ 定価: 非売品



製図



堀 直子

日本工芸会正会員
長崎県美術協会名誉会員

【主な受賞歴】

長崎県展 西望平和賞	10回入選に4回受賞 受賞
西部伝統工芸展 18回	23作品入選に3回受賞 入選
日本伝統工芸染色展	5回入選 受賞
日本伝統工芸展 日本工芸会会長賞	正会員認定
日本工芸会	3回
長崎県展実行委員	3回
長崎県展審査員	3回
長崎県現代作家美術展選考委員	3回
長崎市民美術展審査員	5回
長与町教育文化奨励賞	表彰



【第55回日本伝統工芸展 日本工芸会会長賞】 藍木綿花織帯「花から花へ」



藍木綿花織帯「いのり」



茶木綿花織帯「金木犀」



【長崎県展 西望平和賞】手織紬着物「さざ波に遊ぶマリモ」



紬織着物「春がすみ」



紬織経緯緋着物「みのり」



長崎新聞（1990年11月2日）

人を、山を、自然を愛し、心に残る美しい情景を描き続けて

〈画集〉

塩田 幸助

Kosuke Shiota 画集

南島原市の有家で生まれ育った塩田幸助さんは、幼い頃から絵を描くのが好きで、表彰されることも多かったとか。中学校卒業までは、絵に打ち込んでいたそうです。

就職して長崎市で暮らすようになってからは、仕事と山登りに没頭する日々が続き、絵は定年退職後の楽しみにしようと思っていたと言います。

そして迎えた定年退職。水彩画を本格的に始め、県展や日本水彩画会の水彩展などで入選を重ね、山や自然を慈しむ作品で画集を作られました。

- 版型:250×250
- 頁数:74頁
- 製本:ガンダレ製本
- 定価:3,000円



登山幻想 (50号 2005年)

塩田 幸助

日本水彩画会 会員
長崎みずえ会 会長
長崎カルチャー山の会 会長

【略歴】

- 1952年4月 三菱技術学校入学
- 1955年4月 三菱重工長崎造船所 職場配属
九州の主な山々を登る
- 1966年10月 南アルプス、北アルプスに登る
- 1985年 ヒマラヤ・ランシサ・リ峰挑戦
- 1986年8月 中国シルクロードの旅15日間
- 1988年夏 パキスタン・カラコルム トレッキング15日間
- 1996年9月 定年退職、水彩画を始める
- 1998年9月～ 長崎県展 初入選を果たす
- 1998年12月 長崎市民展 奨励賞
- 2000年 県勤労者美術展 KTN賞「原生林の歌」20号
- 2001年 高齢者美術展 会長賞「緑の流れ」40号
- 2001年～ 個展6回 開催
- 2002年 県勤労者美術展 知事賞
- 2003年 高齢者美術展 理事長賞
- 2004年 県勤労者美術展 知事賞
- 2005年 県勤労者美術展 大臣賞
- 2009年 平戸オランダ400周年記念スケッチ大会 銀賞
- 2019年 長崎居留地まつり 大賞
- 2022年 高齢者美術展 奨励賞



大地に生きる子供達 (ネパール) (40号 2009年)



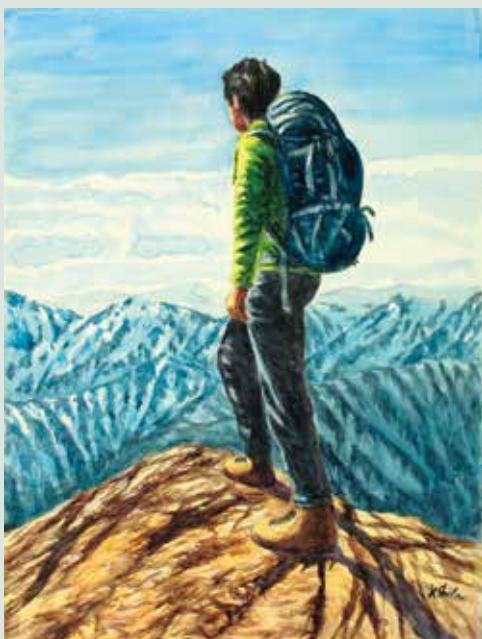
東山手の風景 (10号 2019年) 居留地祭り大賞受賞



故郷の荒廃 (20号 2020年) ねんりんピック作品奨励賞受賞



休漁の日 (50号 2006年)



山頂に立つ (20号 2020年1月) 日中友好協会美術展



街道荒廃 (40号 1999年) 日水会初入選

頑張ってきた自分のために、夢の大切さを伝えるために

パッチワーク&エッセイ集

思い出の布たち

森洋子
Yoko Mori

古布パッチワークや新聞投稿、家計簿づくりなどで才能を発揮して、自費出版の夢を長年持ち続けていた森洋子さん。

質素・儉約を語りながら、自分自身のためだけに消費することに後ろめたさを感じて、なかなか実現に踏み切ることができずにいました。

でも、ずっと続けてきたことをお子さんやお孫さんたちに形として残したいと考えるようになり、古希の記念に自費出版を決めました。

生涯で一番のわがままで贅沢なこと、頑張ってきた自分への最初で最後のご褒美という思いとともに、これから大きくなっていくお孫さんたちへ、夢は大事に、夢はいつか叶うと信じて追いつけてほしいという思いが、背中を押してくれたそうです。

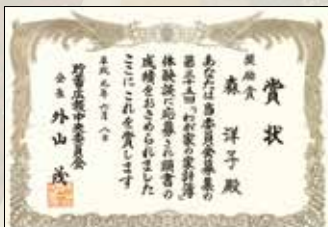
歳時記 (古布パッチワーク)



家計簿



家計簿で受賞



新聞投稿

西日本新聞ながさき紅皿受賞

これからもよろしく

独立してはや六年。不況のあおりを受け、会社の倒産、廃業が聞かれる中、何とか今まで乗り越えてきましたね。昨年など運転資金に借り入れたお金も、ほとんどが貸金などで消えて本当に心細い思いをしました。

二十年間専業主婦だった私も、独立を機に手伝い始めたけど、二人の給料でも、サラリーマン時代の全盛期にはまだまだ。でも落ち込む私をしり目に、何事も頑張るあなたに、かつて「開拓の森」と言われてきただけの人と、頼もしさを感じました。

地元でダメなら県外へと目を向け、「小さくても中身の濃い会社」を目標に努力するあなたを信じてこれからもついて行きます。結婚して二十七年間、いろいろあったけど、二十世紀の最後に面と向かっては言いにくいので誌面を借りて「ありがとう。そしてこれからもよろしく」の言葉を贈ります。

平成12年12月28日



- 版型: 210×200
- 页数: 42頁
- 製本: ガンダレ製本
- 定価: 非売品

「この世はちょっと見方を変えれば、
かけがえのないものにあふれています。
過去になり思い出になりゆく
一瞬一瞬を胸に刻んでいきたいと思っています」

.....
あたたかい視線で周囲に目を向け、日々の暮らしの大切さ
を見つめる人気シリーズ。第六章を数え、ますます絶好調。
読んだら心があたたかくなってきます。

コロナ禍にあつて
考えたこといろいろ。

第五章で、「令和はどんな時代になるのでしょうか。未来の世代が生きやすいようにと願います」とはからずも綴っていました。その半年後にコロナ禍が到来するなど、知る由もありませんでした。

この三年余、私たちは歴史に大きく刻まれ、後世まで語り継がれるであろうコロナ禍の世界を共有してきました。令和四年にはロシアがウクライナへ侵攻し、深刻で不穏な世界情勢の中を共に生きています。
自粛生活や先の見えない非日常の中で、有限の人生の意味を考えずにはいられ

日々を綴る人気シリーズ!!

エッセイ集

かけがえのない日々

第六章



田添 京子
Kyoko Tazoe

ない日々でした。心も弾まずエッセイ脳も自粛状態になりました。

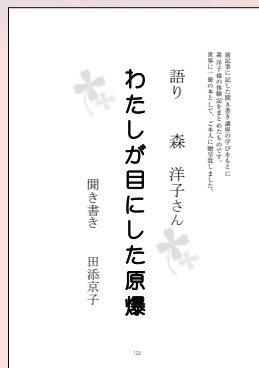
それでも昨年の春、息子の結婚式という喜びを味わった頃から、また書く楽しみがよみがえった気がします。そして、ここ三年余で細々と書いていたものを、一庶民のコロナ禍の日常として残したいと思い始

めました。
「こんなご時世なのに年寄りの平凡な日常など書いて、本まで出していいのかな？」とためらう私に、「歳をとったからこそ感じられることを書いているんじゃないか？」という娘の言葉も後押し



してくれました。

七年前、被曝体験の聞き書きをさせて頂きました。見事な語りでした。ありのままの生の声は、戦時下での暮らしや原爆投下の瞬間とその後のありさまを、私たちの脳裏にまざまざと浮かび上がらせるものです。貴重な語りの伝承になればと思います。



聞き書きにも挑戦なさっていて、第六章に掲載されています。被曝体験の聞き書きを世界に一冊の本にして、ご本人に贈呈なさいました。

子どもたちが生きる未来が、どうか平和でありますようにと願ってやみませ



- 版型: A5判
- 頁数: 156頁
- 製本: 並製本 (カバー付)
- 定価: 1,100円税込

お父様と過ごした日々をたどり、短歌や俳句にしたためた追悼の一冊〈俳句・短歌集〉

〈俳句・短歌集〉

父 久田力男

久田浩一郎
Koichiro Hisada

「百句百歌」、「あの頃」、「今を生き」と、既に三冊の俳句・短歌集を出版なさつ

ていた久田浩一郎さん。

四冊目は、お父様とともに過ごした日々をたどりながら、
したためた作品を一冊にまとめられました。

お父様との記憶を大切にとどめておきたい、文字として
残しておきたい。

そうした気持ちで託された書名は、「父久田力男」。

久田さんのお父様への深い愛が伝わってくる追悼誌です。

〈俳句〉

身に沁むや杖を頼りに歩む影

点滴の父と見ており春の雪

病窓の陰り深まる梅雨湿り

どしや降りの精霊流し送り雨

〈短歌〉

歎かく父の寝顔のあどけなく昼間のいさかい詫びる秋の夜

鬼の面被り豆まく吾を見て笑う父にはこれもりハビリ

最後まで聞こえていると教えられ酸素マスクの父に語り続ける

介護され老いてゆく身の厳しさを父の姿に見る秋日和



父 力男さんと浩一郎さん



Profile

1947年 長崎県佐世保市生まれ
2006年 長崎新聞文芸賞受賞(短歌部門)
2012年 朝日新聞長崎県内版年度賞受賞(俳句部門一佳作)
2013年 朝日新聞長崎県内版年度賞受賞(俳句部門一優秀賞)

■版型: 四六判
■頁数: 136頁
■製本: 上製本
■定価: 非売品

いろいろな思いで一作、一作、きれいな色にこだわって

〈画集〉 木原正高水彩画集Ⅲ

Masataka Kihara
木原正高

水彩画をはじめて十四年目になる木原さんの三冊目の画集。力作揃いです。
今回は、二〇一七年六月から二〇二二年十月に描かれた、
八十作から百二十二作までです。

「なぜ絵を描くのか」。
答えは、絵が好きだということ。



東光展30号部門入選
山芍薬 白鳥山



66回長崎県美術展入選
竹ン芸 若宮稲荷



上野の森美術館小品部門入選
花 糸やなぎ

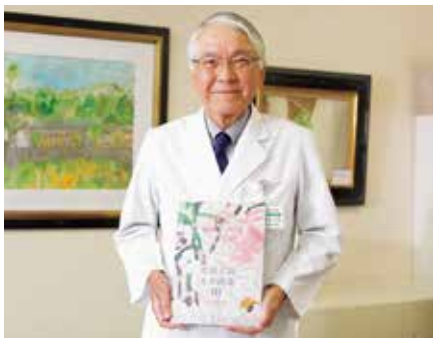


上野の森美術館小品部門入選
大野教会1



東光展30号部門入選
ジャカランタの町 小浜

心惹かれたものに
気持ちを込めて描いています。



Profile

昭和23年11月(1948年11月) 長崎市生まれ 74歳
長崎大学医学部大学院卒業 医学博士 総合内科専門医
水彩画歴14年 荒木恵子先生主催水彩画グループ「ブルーパレット」所属
上野の森美術館展、東光会、長崎県美術展、長崎市美術展入選

- 版型：A4判
- 頁数：50頁
- 製本：並製本
- 定価：非売品



書道と短歌を生きがいに、言葉を紡いで

〈歌集〉

浮々

森脇 喜代子
Kiyoko Motiwaki

書道と短歌を生きがいにしていた森脇喜代子さんの歌集です。

書道教室の生徒さんや短歌会のお仲間にも恵まれて、穏やかで幸せな

人生だったと思います。

そう、振り返るお嬢さんの涼美さんが、より多くの人に喜代子さんの作品に触れてほしいと願って、喜代子さんが自筆で作っていた歌集をそのまま本になさいました。



■ 版型：B5
■ 頁数：112頁
■ 製本：ガンダレ製本
■ 定価：非売品

いつか又逢ひたき友と別れ来て
降り立つ駅の灯の色淡し

咲きみつる桜の枝を渡る鳥

姿の見えぬ花びらこぼす

赤かぶら漬け終え心足りし夜は

夫にやさしくものを言ひたり

髪を切り乙女てびたる孫と逢ひて

路のたう如づる香のたつ厨にて

生命大事に生きむと思ふ

台風に栗の木折れてまなかひの
山の稜線今朝あらあらし

夕イの人と何時また逢はむ機の下に

連休に子ら帰り来ず山鳩の

くぐもる声をききて草引く

国境線の河蛇行する

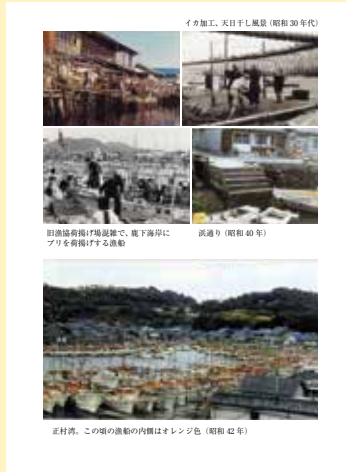
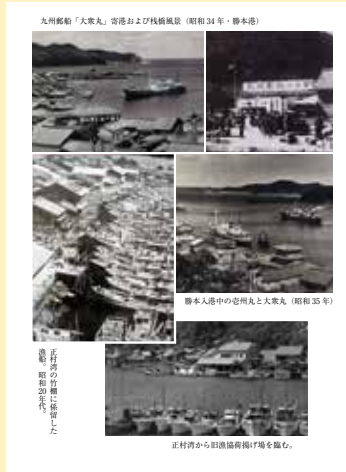
木もれ陽の網戸にゆれて炎熱の
陽はやくやくに沈まむとすう

山茶花は紅あややかにふるさとの
家に咲きつぐ母亡き今も





勝本浦正村湾(昭和40年代後半)



〈郷土誌&家族史〉

愛するふるさとと家族の歴史をたどって

壱岐の島の漁村に生きて

勝本浦の昭和・平成の記憶

松尾満里子
Mariko Matsuo

松尾營子
Eiko Matsuo

生まれ育った壱岐の島・勝本浦で、松尾満里子さんと松尾營子さんの姉妹は再び一緒に暮らすようになって、勝本の暮らしの変遷や歴史的背景をあらためて知りたいと思ったそうです。でも、身近に勝本の少し昔を伝える適当な現代史の書物が少なかったため、自分達で土地の記憶をたどって、郷土誌という形にして残すことになりました。

また、壱岐の勝本浦に生きた庶民の記録として、時代を懸命に生きた証として、松尾家のファミリーヒストリーも加えて仕上げられました。



- 版型: B5
- 頁数: 148頁
- 製本: 並製本
- 定価: 非売品

25年のあゆみ(年表)							
27	28	29	30	31	32	33	34
漁協設立 漁協本部 建設	漁協本部完成 漁協本部 完成	漁協本部完成 漁協本部 完成	漁協本部完成 漁協本部 完成	漁協本部完成 漁協本部 完成	漁協本部完成 漁協本部 完成	漁協本部完成 漁協本部 完成	漁協本部完成 漁協本部 完成



松尾満里子さん



松尾營子さん

『勝本町漁協婦人部大会 設立二十五周年記念』より

長崎の短歌文化をけん引して50年

短歌雑誌 **あすなろ**

創刊50周年、おめでとうございます。

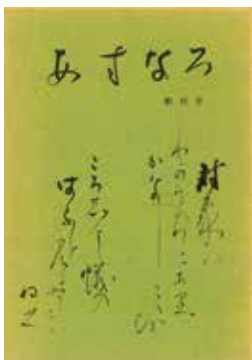


ますますのご発展を

超結社の同人歌誌「あすなろ」が誕生から50年を迎え、創刊50周年特集号が発刊されました。「あすなろ」は、長崎市の歌人、上川原紀人さんが主義主張を超えて短歌を若い世代に伝え、短詩型文学の底辺を支えたいとの思いで創刊。長きにわたり長崎の短歌文化をけん引し、個性豊かな歌詠みが集う場となっています。現在年4回発行し、200号まで号を重ねています。創刊以来50年にわたり、昭和堂は発刊のお手伝いをさせていただいております。



創刊50周年記念特集号



創刊号



創刊10周年記念特集号



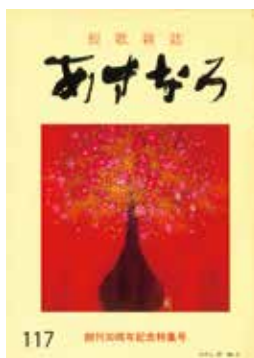
創刊15周年記念特集号



創刊20周年記念特集号



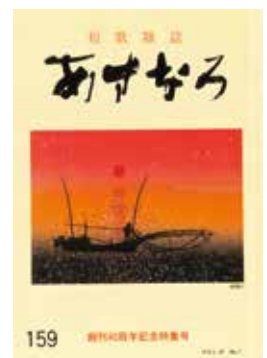
創刊25周年記念特集号



創刊30周年記念特集号



創刊35周年記念特集号



創刊40周年記念特集号

「ゆるり」が結んだ縁

「ゆるり」vol.39でご紹介させていただいた竹松舘子さんと浅田恵子さん。
掲載がご縁でお二人の交流が深まっています。

先日の朝、電話が鳴り受話器を取ると、昨年末友だちになった、長与の竹松舘子さんからでした。ちょうどその日は朝からごみ出しや洗濯機の排水フィルターにお掃除サインが出たりして、毎朝楽しみにしている新聞を読んでいませんでした。

電話の内容はその日の「えぶろん」欄の投稿者が私と同じ姓で内容も私と竹松さんの交流とそっくりなので、読んでみて、との知らせでした。竹松さんとは本作りの情報誌「ゆるり」が縁でもありがたい、よい出会いをしました。同じ号の7ページに「舘ちゃんの献立表」という

浅田 恵子

はじめは、竹松舘子さんが「ゆるり」vol.39を見て浅田恵子さんの作品に興味を持ち、読んでみたいとご連絡をくださったことからです。そして、そのことを浅田さんにお伝えしてお二人の仲を取り持つことになりました。お二人は、お互いの本を読み合い、感想を伝え合ううちに意気投合。さまざまなことに興味をお持ちのお二人は、頻りに連絡を取り合って情報交換をする間柄となって、親交をあたためていらっしゃいます。

そんなお二人の関係は、浅田さんが投稿して長崎新聞にも掲載されました。

「ゆるり」がきっかけで交流の輪が広がっていくというのは、本当にうれしい限りです。

えぶろん

「ゆるり」が結んだ縁

料理本のこと載り、10ページには私のエッセー「つれづれ記」を写真入りで載せていただきました。編集者を通じてお互いの自費出版本を交換しました。

その後、長与が舞台になった映画や書籍のことなども知らせていただき、興味の尽きない楽しい交流が続いています。彼女は絵手紙も上手で、時々投稿して掲載され、絵心のない私にとってはとても楽しみです。

楽しい絵に加えて連筆で、手作りのしおりや絵がきまぐれさんいいただきました。今年の年賀状には、次の目標は3年後に「自叙伝の出版」と書かれており、心待ちにしています。

(大村市・主婦・78歳)

長崎新聞 2023年3月7日掲載



竹松 舘子さん



浅田 恵子さん



風子の窓
いらっしゃ〜い 風子のうちへ〜
著者 黒田田鶴子

- 判型：B5判
- 頁数：184頁
- 製本：並製本
- 定価：非売品



長崎新聞 郷土俳壇掲載句集「月曜句会」
著者 上村 敏

- 判型：四六判
- 頁数：142頁
- 製本：上製本（カバー付）
- 定価：非売品



川柳 鈴蘭
著者 塚本禧子

- 判型：A5判
- 頁数：74頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品



エッセイ集 **自分の居場所**
著者 金子キリエ

- 判型：A5判
- 頁数：94頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品



くぼたファミリーしんぶん
著者 久保田繁美 久保田八重子

- 判型：B5判
- 頁数：265頁
- 製本：並製本
- 定価：非売品



令和四年の長崎精霊流し
伊良林一丁目催合船と伯父・越中哲也
著者 土肥原弘久

- 判型：A5判
- 頁数：150頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：2,200円（税込）



句集 錫の色
著者 浦田茂孝

- 判型：B6判
- 頁数：110頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品



詩集 **方向性詩篇**
著者 大谷良太
編集室 水平線

- 判型：四六判
- 頁数：110頁
- 製本：上製本（カバー付）
- 定価：2,970円（税込）



液体水素タンクシステム
著者 古林義弘

- 判型：B5判
- 頁数：398頁
- 製本：上製本（カバー付）
- 定価：9,900円（税込）



増補改訂版 **塩飽史**
江戸時代の公儀船方
著者 吉田幸男

- 判型：A5判
- 頁数：410頁
- 製本：並製本（カバー付）
- 定価：2,750円（税込）



詩集 **文金島田**
著者 松尾静子

- 判型：四六判
- 頁数：134頁
- 製本：並製本（カバー付）
- 定価：非売品



エッセイ集 **第四の人生が見える**
著者 東フミ子

- 判型：四六判
- 頁数：222頁
- 製本：並製本（カバー付）
- 定価：非売品

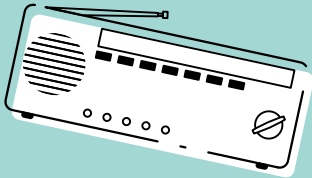
あなたの本や
作品をラジオで
紹介します!!

NBC
ラジオ



『昭和堂笑顔のレシピ』

ラジオ出演
体験して
みませんか?



きいてね!!

第1・3火曜
あさ11:20より
放送中

あなたの想いを本にしませんか



『ゆるり』とは、囲炉裏の意味。

囲炉裏を囲むように、
皆さんで集まっていたける空間に…
との願いが込められています。
和の雰囲気を感じられる空間で、
ゆっくりゆるりと、本づくり談義に
花を咲かせてみては
いかがですか。

お見積り
無料



めがね橋電停そば
ファミリーマートより
入って左側すぐ



自費出版サロン

ゆるり

TEL.095-828-1790

FAX.095-823-8740

<http://www.showado.co.jp>

〒850-0875

長崎市栄町6-23

昭和堂ビル2F



サロンの紹介をはじめ
本づくりの体験記や
情報誌ゆるりの
バックナンバーも
ご覧いただけます。

自費出版サロンゆるり ホームページはこちらから➡
<http://www.jihishuppansalon.com/>



わくわくわくわく!!!



宿泊者
対象!

長崎しま旅

得!

わくわく乗船券

対馬

Tsushima



壱岐

Iki



五島

Goto



新上五島

Shinkamigoto



小値賀

Ojika



宇久(佐世保)

Uku



各航路の往復乗船券

+

100

円で

島で利用できる(約200種類)
観光体験クーポン券

が付いてくる!

※往復乗船券は指定の往復同一航路(同一発着港)・同一船種のみ利用できます。
※島に1泊以上の場合のみ対象となります。

※予算がなくなり次第、終了します。
※観光体験クーポン券の金額は航路によって異なります。

- 販売期間/2024年2月29日(木)まで
- 販売場所/本土の乗船窓口(長崎港・佐世保港・博多港・唐津東港)

乗船券
観光体験 は事前予約 をお願いします!

お問い合わせ

しま旅滞在促進事業事務局 TEL:095-893-6651
(平日/9:00~17:45)

「長崎しま旅 わくわく乗船券」の詳細はこちら▶

長崎しま旅 わくわく乗船券

検索



「長崎しま旅 わくわく乗船券」は特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用して実施しています。 ※2023年6月現在の情報です。